

**ニュースレター** No. 48 ハーモニー・ライフ 平成22年11月11日発行

ミニ集会のお知らせ

乾いた冷たい空気に、朝夕は思わず身を縮めることも多くなりました。風邪に要注意の季節です。BBQや学会参加の報告もありますので、是非ご参加ください。

記

日 時：平成22年11月21日（日）13:00-15:00

参加費 300円（茶菓を準備します）

場所：慶應義塾大学信濃町キャンパス孝養舎（看護医療学部）2階  
マルチメディアカンファレンスルーム

〒160-8582東京都新宿区信濃町35慶應義塾大学看護医療学部

<http://www.sc.keio.ac.jp/access.html>（地図をご参照ください。）

ご出席の方は事前連絡の必要はございません。

連絡・問い合わせ先：メール：[takeday@sfc.keio.ac.jp](mailto:takeday@sfc.keio.ac.jp)（武田）TEL03-5363-2064

当日は09098335078にお願いします。

2010年度ミニ集会の予定

【昼の部】

3月11日（日）13-15時

（場所は慶應大学信濃町キャンパス2階マルチメディアカンファレンスルームを予定しています。日程等については変更する場合がありますのでご注意下さい）

【夜の部】

12月10日（金）18-20時

2月27日（金）18-20時

**主治医の異動から一年間の  
医療機関受診記録**

200X年6月頃、検査をした所、不運にも十二指腸に中等度異型の腺腫が見られ、手術も考慮してくださいと言われてきました。しかし主治医が異動されると言う事で、異動先の遠地での入院やその後の通院を考えると、私もかなり困惑し、地元で新たな通院先を探すことに致しました。

その後、紹介状を持ち、同年11月にA大学付属病院を受診致しました。今までの病歴を話し、もう一度一通りの検査を受けました。

A大病院の診察でも「要手術」と判断され

たものの、消化器外科の医師団でも色々な意見が出た様で、私達が受け止めたのは、「臍頭十二指腸切除が一般的だが、合併症のリスクを考えるとそこまでの必要はない。その手法とFAPの疾患に精通していると言えるほどの医師がいない。」と解釈しました。

そこで、翌年3月にA大病院の主治医より、B病院へセカンドオピニオンを薦められ、受診しました。形こそセカンドオピニオンですが、より良い治療法を見つけましようと言うことと、主治医は以前そこへ在籍していた様で、私達夫婦で相談し紹介された様な形です。

そこでのお話ですが、セカンドオピニオンにおいても、やはり「要手術」と言う事でした

が、「これだけの腺腫ができていたら、どこか一部分でもがん化を否定できない。しかし膵頭十二指腸切除までは必要ない。合併症が少ない膵温存十二指腸切除ができる。」と。

FAPそのものに関しては、「専門家ではない」とおっしゃられていましたが、もうここでお願いするしかないと感じ、その5月に「膵温存十二指腸切除手術」を受けました。この術例はB病院でも過去に1例しかありませんでしたが、ここに頼るしかありませんでした。

約5時間の手術で、腺腫のある十二指腸部分と、今後の合併症を考え胆嚢を摘出しました。腺腫の中には癌化していたものもあったが、浸潤はないとの事でした。約4週間の入院を得て退院しました。

その後、自宅静養していましたが、9月頭に激しい吐き気と腹痛が起き、B病院を受診した所、「急性膵炎」と診断されそのまま2週間入院しました。

合併症の一つであると言われ、飲酒はしていませんが食事には十分注意しなさいとの事でした。今後は、内科とバトンタッチするとの事で、次の外来で初めてお会いする予定です。これまた不安もありますが、前向きに行きたいと思っています。

その後、軽い仕事に復帰する事ができ、これも一つの区切りと思い、10月になり報告している次第です。これまで大変御世話になった恩人である、長年の主治医であった先生に、私が元気なのを報告したいと思っています。

これは手術前に執刀して下さった医師に言われた言葉ですが、「最初の手術からこの15年近く、幸せな生活だったよね。今回の手術も大変だけど、頑張ろう。」とこの言葉を聞いた時、これまで主治医や看護師等の医療者に自分の病気をどれだけ「依存」していたか、「助けられてきたか」とよぎり、感謝の気持ちがあふれました。それと同時に、手術前の不安な私たちの気持ちを一扫してくれた執刀医にも信頼の念を持つことができました。

私としては、お医者様より受けた診断を、家族と相談し自分なりに最善と思う手段を進めた一年間でした。私の治療法が専門家からみて「良いのか悪いのか」は判りませんが、自分達で出来る事をしてきたつもりです。

私の病状、病院探し、入院、手術とその後の体調、思っていることなど、些細なことが、「ハーモニー」を通じて、ほんの少しでも皆さんのお役にたてれば、こんなに嬉しい事はありません。足りない情報があれば、なんでも聞いてください。

関東在住 S. N 2010.10



#### 会費納入について

会費の納入方法は銀行振込です。必ず会員の方のお名前を明記してください。

「ハーモニー・ライフ」では、随時会員の入会を受け付けております。入会申込書にご記入いただき事務局にお送り下さい。同時に年会費（2000円）を振り込んで下さい。会費の納入が確認でき次第、会員として登録させていただきます。入会を希望される方がいらっしゃれば、是非ご紹介下さい。ご不明な点については、事務局に文書でお問い合わせ下さい。

<年会費の振込先>

りそな銀行 横浜支店 普通1594211  
名義：ハーモニーライフ タケダユウコ

編集後記：

10月は、日本遺伝看護学会、日本人類遺伝学会の患者団体ブースへの参加をしました。さまざまな患者団体と交流の機会であったと思います。

近況をお知らせ下さったS. Nさん、ありがとうございました。お互いの体験共有ができるのが会の魅力だと思います。集会やニュースレターを通して会員の繋がりが広がっていきますね。

記録・広報係：武田祐子

慶應義塾大学看護医療学部

E-mail: [takeday@sfc.keio.ac.jp](mailto:takeday@sfc.keio.ac.jp)

〒160-8582東京都新宿区信濃町35

TEL 03-5363-2064